

館外①：<sup>たてあな</sup> 竪穴住居編（中学生対象）解答例

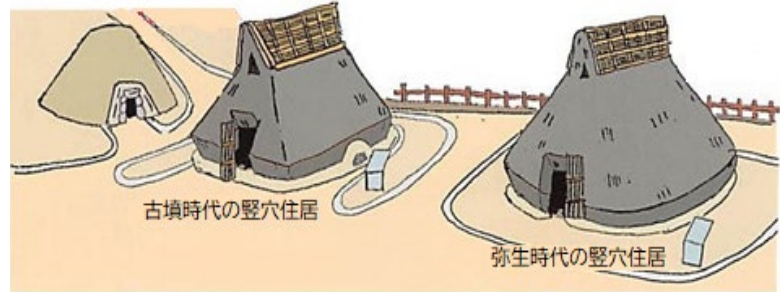
<sup>たてあな</sup> 竪穴住居を観察しよう

◇考古博物館の外には、復元された

<sup>たてあな</sup> 竪穴住居が2つあります。

2つの <sup>たてあな</sup> 竪穴住居のちがうところと

同じところを観察してみよう。



<sup>こふん</sup> 古墳時代の竪穴住居	<sup>やよい</sup> 弥生時代の竪穴住居
ちがうところ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋が四角形</li> <li>・柱が四角形に立ててある</li> <li>・火を <sup>た</sup> 焚いた場所が <sup>かべ</sup> 壁ぎわにある</li> <li>・外に <sup>けむり</sup> 煙を出す穴が開いている</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部屋が円形</li> <li>・柱が丸く立ててある</li> <li>・火を <sup>た</sup> 焚いた場所が中央にある</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
同じところ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根が草や木できている</li> <li>・地面に <sup>たてあな</sup> 竪穴を <sup>ほ</sup> 掘ってできている</li> <li>・柱をひもで結んでいる（<sup>くぎ</sup> 釘をつかっていない）</li> <li>・中で火を燃やすところがある</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<sup>かべ</sup> 壁がない</li> <li>・<sup>てんじょう</sup> 天井がない</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りに土を盛って高くしている</li> </ul> </div> <p style="text-align: right;">など</p>	

◇当時の人たちはどんな住まいの工夫をしていたでしょう。

<sup>たてあな</sup> 竪穴住居の中に入って気付いたことを書いてみよう。

- ・作りが簡単なのでこわれてもすぐに修理できそう
  - ・<sup>けむり</sup> 煙を上手く外に出すつくりになっている
  - ・雨水が流れ込まないように周りに土手をつくっている
- など

館外②：古墳 編 (中学生対象) 解答例

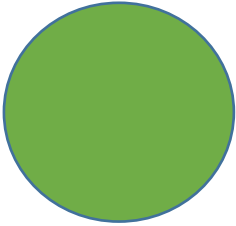

古墳を観察しよう

考古博物館の外の史跡公園には、復元されたいろいろな古墳があります。

そのうち、岩谷古墳と若宮1号墳を観察してみよう。

◇古墳はどんな形をしているかな？

真上から見た形を描いてみよう。

いわやこふん 岩谷古墳	わかみやふん 若宮1号墳
	

**発展** 前方後円墳がこの地域にあるのはどうしてだろう？

◇古墳の大きさはどのくらいかな？

自分の歩幅で測ってみよう。同じ歩幅で測ってみよう。

岩谷古墳の周り1周…約42～43m(1歩60cmとして約70歩)

若宮1号墳のタテの長さ…約40m(1歩60cmとして約67歩)

◇若宮1号墳の上に登ってみよう。そして、なぜ大きな墓をつくったのか考えてみよう。

- ・この地域の支配者、権力者、王などが自分の力を人たちに見せつけるため。
- ・古墳をつくるすぐれた技術や多くの人を働かせる力をもっていることを示すため。 など

※大きな古墳をつくるためにはどんな力が必要だったかも考えてみよう。

代表的な古墳のかたち



えんぼん  
▲円墳



ほうふん  
▲方墳



ぜんぽうこうえんふん  
▲前方後円墳

※自分の1歩の長さをはかって歩数をかけてみよう。

館内①：タイムトンネル編（中学生対象）解答例

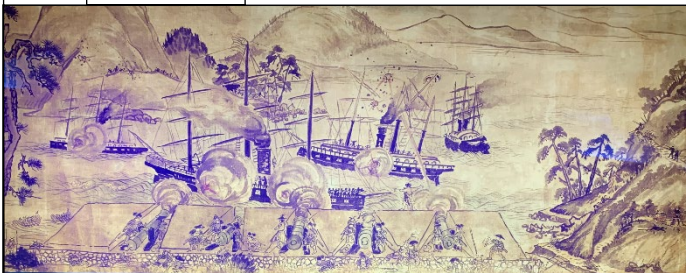
## タイムトンネルを通して過去へさかのぼっていこう

◇タイムトンネルは、下関とつながりが深い海に関する写真や絵を見ながら、現代・近代・近世・中世・古代と時代をさかのぼって地階の展示室に入っていきます。

次の①～③の絵と関係がある説明を線で結んでみよう。

①

1864年 しこくかんたい ほうげき 四国艦隊下関砲撃事件



とう 唐(中国)の制度や文化をとり  
いれるために、630年から  
894年まで、十数回にわたり、  
都から かんもんかいきょう 関門海峡 を通って、  
けんとうし 遣唐使 という使節が送られた。

②

1185年 だんのうら 壇ノ浦の戦い



外国人を追い はら 払おうとして  
外国船を こうげき 攻撃した ちようしゅうはん 長州藩 に  
報復するため、1864年、  
イギリス、フランス、オランダ、  
アメリカの かんたい 連合艦隊 が下関を  
こうげき 攻撃し、ほうだい 砲台 を せんりよう 占領した。

③

753年 けんとうし 遣唐使船



平安時代の末期に、強い力をもっていた平氏は、各地で拳兵した源氏軍に追われ、ついに追いつめられて 1185年、  
だんのうら 壇ノ浦 の戦いで めつぼう 滅亡した。

ひびきなだ 響灘 の波の音と つちふえ 土笛 の音を聞きながら、タイムトンネルをぬけると、展示室です。

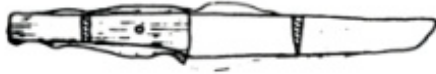
こふん 古墳 時代と やよい 弥生 時代のものがたくさん展示してあります。

館内②：古墳時代編（中学生対象）解答例

### 古墳時代のようすと海からの文化

古墳時代コーナーの右側の展示ケースの中には、古墳の副葬品があります。気になったものを1つ選んで、名称（なまえ）とかたちを描いてみよう。

古墳時代の器には、弥生土器と同様の方法で作られた「土師器」と、朝鮮半島から伝えられた新しい技術で作られた「須恵器」があります。両方を観察して、それぞれの特徴をみつけよう。

名称（なまえ）	(例) 刀子
気になった副葬品のかたち	
(例)	
	
現在の小刀やナイフに類する工具	

「土師器」は 褐色～赤褐色をしているものが多い など
「須恵器」は 青灰色をしているものが多い など

「海からの文化」コーナーのケースの中にあるもののうち、下のものは下関市内の遺跡で、国内で初めて見つかりました。関係のあるイラストを線で結んでみよう。



日本で10個しか見つからない多鈕細文鏡



綾羅木郷遺跡で発見された陶埴（土笛）



日本で1つしか発見されていない蓋弓帽

弥生時代につくられた楽器で、上側に吹き口を、前と後ろに指でおさえる穴をもつ卵形の土製品です。

弥生時代中ごろの副葬品で、当時の中国の馬車の上につける傘のかざりとして使われた金具です。

朝鮮半島の鏡で、鏡面が凹面になっており、さかさまに映るのが特徴です。裏には紐を通す穴が3か所あり、名前の由来になっています。



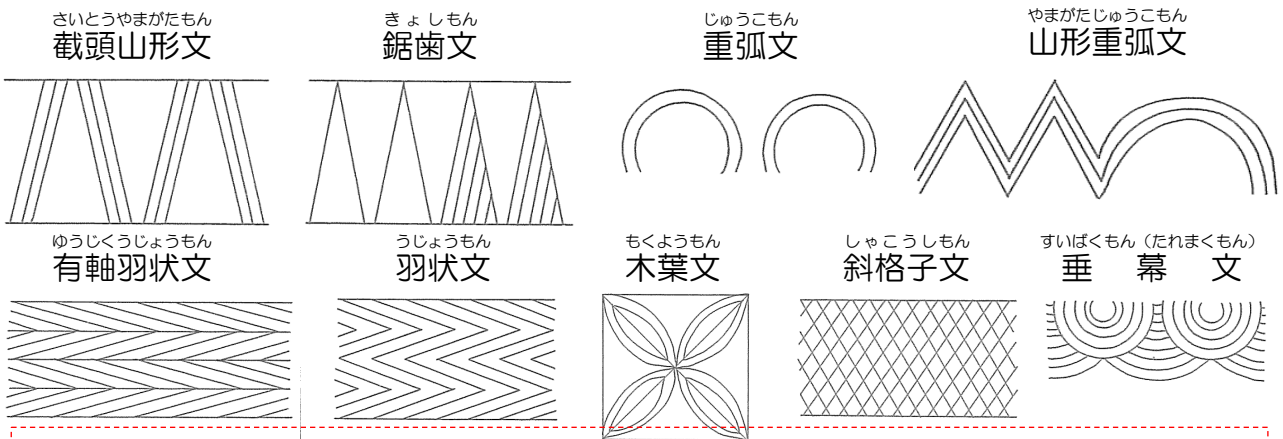
館内③：弥生時代編（中学生対象）解答例

弥生時代の人たちの暮らし

◇さわる展示コーナーの弥生時代の壺（おもに食べ物や飲み物を入れた土器）をかかえてみよう。そして、弥生時代の人たちにとって土器はどういうものだったか考えよう。

重くて運ぶのがたいへんだった。大きくて丈夫な土器をつくるのはむずかしかった。食べ物や飲み物を入れるので大切なものだった。 など

◇次の文様（土器に描かれた模様）は、綾羅木郷遺跡から見つかった弥生土器の代表的な文様です。同じ文様のある土器を3つ見つけて、文様を○で囲もう。 解答略



※弥生土器のなかで、綾羅木郷遺跡から出土する弥生土器は、その特徴から「綾羅木式土器」とよばれています。

◇たくさんの土器の横には弥生時代に使われていた道具が展示してあります。

次の道具の中から自分が気に入った道具を1つ選んで、道具の名称を書こう。

農業の道具	(例) 石包丁
品物を作る道具	(例) 挟入片刃石斧
武器	(例) 石剣

◇弥生人が食べていたものの中で、あなたが食べたことがあるものを書いてみよう。

(例) コメ・クリ・サザエ など

※弥生時代の食生活はコメを中心としたものと思われがちですが、コメの収穫量が不安定であったため、コメ以外のさまざまな食材も利用していたと考えられます。